

令和 3 年度使用

中学校用教科用図書研究資料（総評）

【国 語】

教科用図書北諸県採択地区協議会

発行者	総 評	備考
2 東京書籍	<p>(1) 国語科の目標を達成するために、「学びの扉」、「学びを支える言葉の力」で習得した基礎的な資質・能力が「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各教材の中で活用できるような構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 情報の整理の仕方や情報と情報の関係の捉え方を生徒にとって身近な例を題材に取り上げて学べるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒が自分でまとめを行えるようにするために、各教材のポイントや身に付けたい資質・能力を「言葉の力」にまとめるなど、生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>(4) 内容を正確に読み取る力を育成するために、学習の流れや図に加え、各単元末の「てびき」の漫画で読みの目的を明確にし、さらに、巻末の「学びを支える言葉の力」と関連付けて学習を深め、読解に関する資質・能力を段階的に身に付ける工夫が見られる。</p>	<p>2 年 P46、250</p> <p>2 年 P54</p> <p>2 年 P109</p> <p>2 年 P35 P229</p>
15 三省堂	<p>(1) 国語科の目標を達成するために、「目次」で標準的なカリキュラムを示すとともに、「本編」では必修の学習内容を扱い、「資料編」では学習を支える資料を示すなど、弾力的なカリキュラムマネジメントが可能となる構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 教材で使われている言葉を多様な観点から豊かにする「語彙を豊かに」を設けるなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒自身が考えを整理するために、「学びの道しるべ」の課題と関連付けた「思考の方法」を図示するなど、生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>(4) 内容を正確に読み取る力を育成するために、様々なジャンルの文章を正確に読み解き、深く味わうための技やコツが各単元末に図やフローチャートで示されており、各単元で培った能力を他教科での学習に活用できる工夫が見られる。</p>	<p>2 年 P2、5</p> <p>2 年 P68</p> <p>2 年 P158</p> <p>2 年 P172 P174</p>

17 教育出版	<p>(1) 国語科の目標を達成するために、必須教材を単元化した「本教材」と、学習時期を柔軟に扱ったり、補充等として扱ったりする「小教材」「資料」に分けるなど、学習内容に応じて効率的に学習計画が組み立てられるような構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 各学年、各単元に設定したキーワードと教材の話題に関連した図書を「広がる本の世界」として紹介するなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 生徒が自分で読む手助けとするために、「学びナビ」の「ここが大事」と関連付けた教材の後の「みちしるべ」を設定するなど、生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>(4) 内容を正確に読み取る力を育成するために、各単元の導入部分において文章の特徴や読み方のポイントが示されていることで、教材をとおして身に付けたい資質や能力を生徒自身が認識して、主体的に学習を進めることができる工夫が見られる。</p>	<p>2年 P2、5</p> <p>2年 P114</p> <p>2年 P183</p> <p>2年 P14～15</p>
38 光村図書出版	<p>(1) 国語科の目標を達成するために、教材を「本教材」「小教材」「コラム」「特設教材」で構成するなど、習得した「知識及び技能」を活用して「思考・判断・表現」を繰り返すことができるような構成の工夫が見られる。</p> <p>(2) 古典学習では、美しい韻律を味わえるようにQRコードで朗読音声を聞けるようにするなど、生きて働く「知識・技能」を習得できるような工夫が見られる。</p> <p>(3) 「学習の窓」で「学習で用いる言葉」を説明し、生徒が学習用語を使用語彙として蓄積できるようにするなど、生徒にとって分かりやすい工夫が見られる。</p> <p>(4) 内容を正確に読み取る力を育成するために、単元ごとに見通しをもてる学習の流れが示されており、「学習の窓」で読みのポイントを図解入りで示し、巻末に一覧でまとめることで、自分の学びを振り返りながら学習を進めることができる工夫が見られる。</p>	<p>2年 P2、5</p> <p>2年 P150</p> <p>2年 P182</p> <p>2年 P50 P260</p>